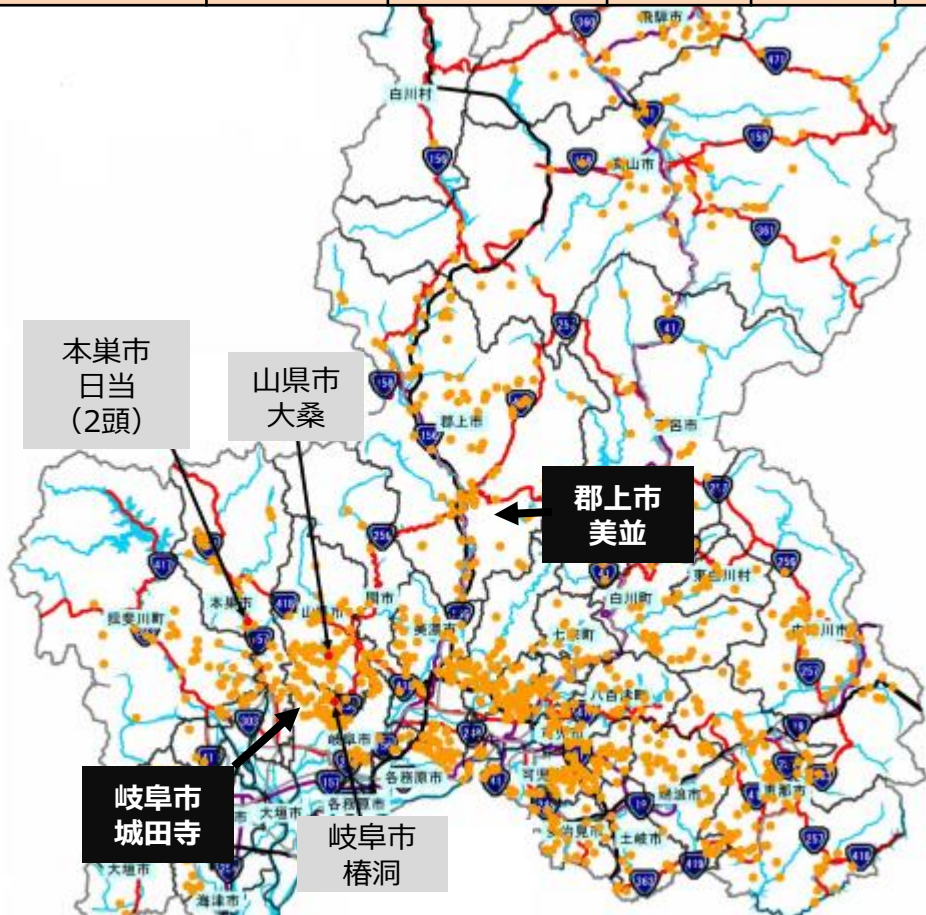


家畜衛生情報

豚熱野外株感染※1 いのししが確認されました

※1 経口ワクチン接種直後はワクチン内のウイルスにより、県の検査（PCR検査）で陽性となる場合があります。このためワクチン散布後に捕獲されたいのししでPCR陽性となったものについては国にシーケンス検査を依頼し、ワクチン株が野外株のどちらか識別しています。

発見地点	捕獲区分	捕獲日	成子	性別	体長	体重
山県市大桑地区	調査捕獲	8月25日	成獣	メス	120cm	60kg
本巢市日当地区	有害捕獲	9月16日	幼獣	メス	70cm	20kg
本巢市日当地区	有害捕獲	9月19日	幼獣	メス	60cm	20kg
岐阜市椿洞地区	死亡個体	9月28日	幼獣	オス	99cm	30kg
郡上市美並地区	狩猟	12月2日	成獣	メス	100cm	30kg
岐阜市城田寺地区	狩猟	12月3日	成獣	メス	93cm	20kg



12月に入り、郡上市美並地区および岐阜市城田寺地区で豚熱陽性のいのししが確認されており、今後も陽性個体が増えていく危険性があります。

次ページを参考に飼養衛生管理の再徹底をお願いいたします。

異状があれば直ちに家畜保健衛生所へ連絡をお願いいたします。

中央家畜保健衛生所：電話番号 058-201-0530

平日時間外・休日の緊急連絡先：090-7024-5269



飼養衛生管理の再徹底を！

ワクチンを接種しても100%の豚で抗体陽性になるわけではありません。飼養衛生管理でしっかりとカバーしましょう。

牛豚等疾病小委員会・拡大豚熱疫学調査チームの「群馬県前橋市・桐生市での発生状況を踏まえた提言」にて特に以下の点の順守が重要であるとまとめています。自農場で徹底できているか、見直しをお願いします。

① 農場周辺の環境整備と消毒等

- ・農場周囲の餌場となりやすい場所や雑木林などのししが隠れられる場所について伐採・草刈り・整理整頓
- ・柵外側の定期的な消毒（いのしし・ウイルスを農場に近づけさせない）
- ・衛生管理区域内の定期的な消毒の徹底

ワクチン接種農場での発生の多くは離乳舎である。

② 豚舎に入る人・物の衛生管理の徹底

- ・畜舎内用衣服への更衣
- ・畜舎立入り時の手指消毒
- ・畜舎内用の長靴への履き替え（交差汚染のないように）
- ・畜舎に持ち込む資材の消毒。地面に触れた場所だけでなく、全面を消毒。
- ・ネズミが入る隙間はないか、定期点検と修繕

ワクチン未接種または接種して間もない豚がいる豚舎は他の豚舎以上に管理の徹底を

③ 消毒液濃度及び交換頻度

- ・気温が下がると消毒効果も下がりやすいため、冬に希釈をする時は濃くする
- ・消毒槽は汚れたらすぐ交換。汚れなくても1日に1回は交換。

【年末年始に向けて】

人・物の国内外の移動が盛んになり、CSF, ASF, 口蹄疫などの病原体も一緒に移動すると予想されます。人・物・野生動物を介して農場内に病原体を持ち込ませないために、農場に入る人・物の制限と消毒等の徹底、野生動物が豚舎内に入らないように豚舎の修繕やネット等の設置をお願いします。